

よなごみ通信

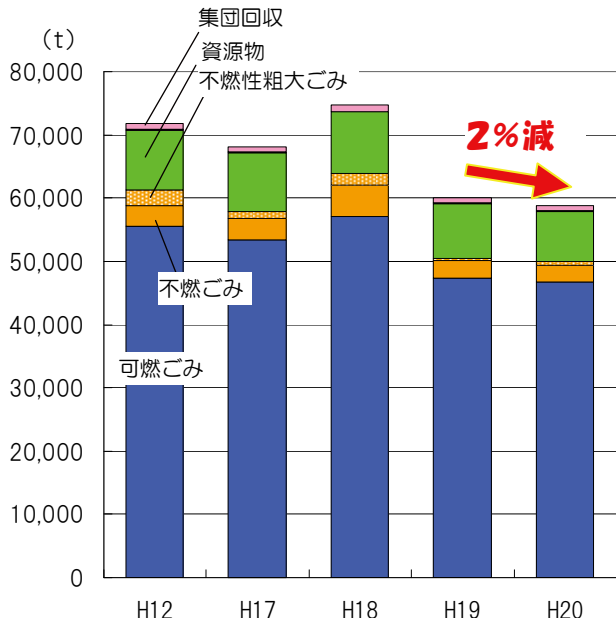
米子市のごみ情報誌 第9号

ごみが減りました!

米子市民一人ひとりの大きな力で、

前年度比2%の減量に成功!

ごみの有料化を開始してから2年。平成20年度の全体のごみの排出量は約5万8,852トンで、心配されたりバウンド(*)はみられず、平成19年度と比べて約2%、1,259トンあまり減少しました。米子市では「一般廃棄物処理基本計画」により、平成22年度のごみの量を平成12年度と比較して8%削減するという目標を立てています。平成20年度のごみの量は、平成12年度と比較すると約18%減少し、今のところ数値目標を維持しています。



※グラフは有害ごみ等を除く

ごみの内訳

ごみの種類別の推移は下のグラフのとおりです。平成19年度は、有料化を開始した直後ということと、ごみの量が大きく減少し、ごみに対する市民の意識の高さが結果となって現れました。平成20年度の全体量は増加に転ずることなく、ほぼ横ばいで推移。家庭や地域、事業者などの取り組みが、少しずつながら着実に実を結んでいることがうかがえます。

可燃ごみ

約1% (約573トン) 減量できました。

不燃ごみ

約3% (約85トン) 減量できました。

不燃性粗大ごみ

約16% (約70トン) の増量となりました。

資源物

約8% (約649トン) 減量できました。

*リバウンドってこんなこと。

ごみ処理の有料化前のごみ



有料化スタート!



やった! スリムになったね!

有料化から数年たって...

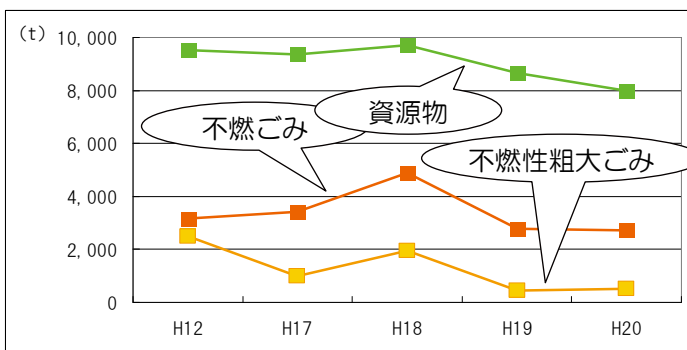
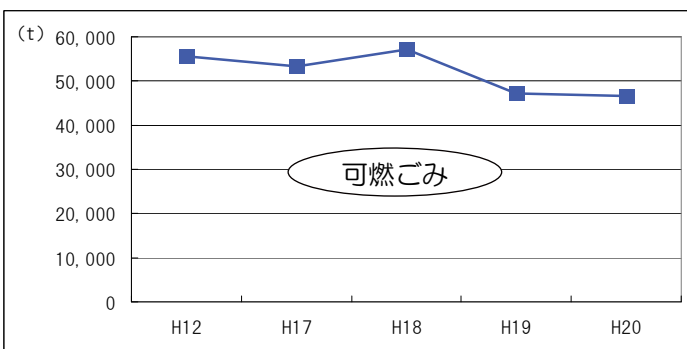
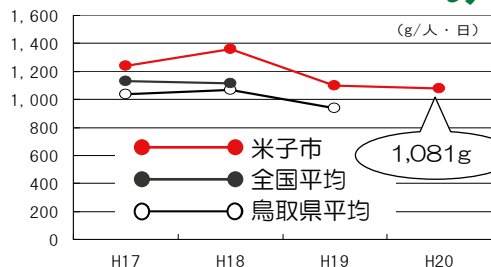


あらら、元にもどってしまった

「ごみ袋にお金がかかる」ことに慣れてしまい、ごみ減量への意識が低下。結果、またごみの量が増えてしまう現象です。

一人一日あたりのごみの量は?

下の表は、ごみの全体量を人口で割ったものです。米子市のごみの量が少しずつ全国や県の平均値に近づいていることが分かります。(鳥取県の数値は速報値です)



いいね!の調子!引き続き、ごみの減量にご協力をお願いします!

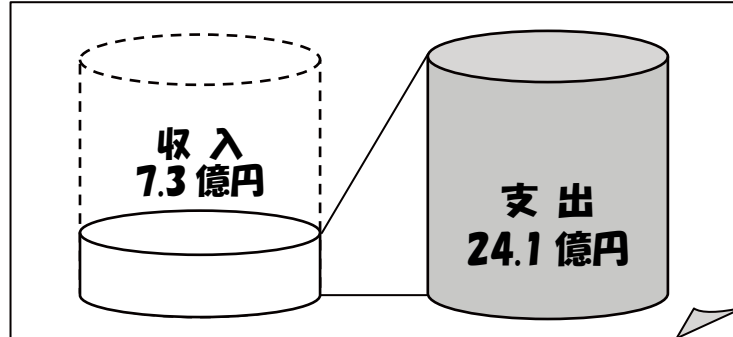




平成20年度 ごみに関する収入と支出

市民のみなさんにご購入いただいている指定ごみ袋と収集シールの代金(ごみ処理手数料)や、クリーンセンターへの直接搬入のごみ処理手数料など、平成20年度のごみに関する収入の総額は約7.3億円、支出の総額は約24.1億円となりました。ここでは、主な収入と支出の内訳をお知らせします。

収入だけでは
まかなえないから、足りない分は一般財源(税金など)で補っているんだね。



ごみの有料化になってから収入は増えたけれど、支出の7割に一般財源が必要なんだね。



主な収入

- ごみ処理手数料(指定ごみ袋と収集シールの代金)……………3億2,580万円
- クリーンセンターへの直接搬入ごみの処理手数料……………3億6,586万円
- 余熱発電電力収入……………1,646万円
※クリーンセンターでは、ごみを燃焼したときに発生する熱を有効利用し、発電などを行っています。
- 溶融スラグ・メタル売払収入……………10万円
※クリーンセンターで焼却灰を溶融してできる溶融スラグと副産物である溶融メタルの売払収入です。
- ☆その他の収入として、日吉津村の負担金(米子市クリーンセンターへ可燃ごみを搬入しているため、負担金をもらっています。約2,400万円)があります。

主な支出

- 財源に「ごみ処理手数料」をあてているもの
 - 指定ごみ袋・収集シールの製造・配送委託料……………3,704万円
 - 取扱店への販売委託料・自治会への奨励金……………2,172万円
 - 負担軽減措置用の指定ごみ袋の購入費用……………1,490万円
 - 資源ごみ回収運動推進団体に対する奨励金……………424万円
 - ボランティア袋の製造委託料……………39万円
 - 「よなごみ通信」の作成・配布費用……………78万円
 - 生ごみ処理機等購入者への補助金……………171万円
 - 不法投棄防止看板の製作費用や不法投棄監視員への報酬など……………59万円
- 財源の一部に「ごみ処理手数料」を、残りに一般財源またはその他の収入をあてているもの
 - ごみの収集運搬や処理などに係る委託料……………4億5,533万円
 - 不法投棄物の処理・処分……………100万円
- 財源に「ごみ処理手数料」以外の収入や一般財源をあてているもの
 - 不法投棄された家電4品目・パソコンの処理料金……………65万円
 - リサイクル推進員への報償金など……………539万円
 - クリーンセンターの運転業務の委託料や修繕工事費など……………10億7,396万円
- ☆その他の支出として、職員の人件費(約3.5億円)、鳥取県西部広域行政管理組合への負担金(ごみ処理に係るもの。約4.4億円)などがあります。

市の収集で集められた資源物(白色発泡スチロール・トレイを除く)は、鳥取県西部広域行政管理組合が再資源化業者に売却しています。平成20年度の米子市分の売却益は、約1億円でした。この売却益は、直接市の収入にはなりませんが、市が負担している同組合の負担金(施設運営などにかかる費用)が少なくなっています。

★ごみに関する主な収入と支出については、米子市のホームページに詳細を載せています。<http://www.yonago-city.jp>

「レジ袋いりません！」地球をいたわるひとです。

使っていますか？マイバッグ・マイバスケット

レジ袋を減らして石油資源の節約・ごみの減量につなげよう



みなさんは、もう使っていますか「マイバッグ」や「マイバスケット」。

市と県、消費者団体、スーパーなどの事業者が組織する「西部地域ノーレジ袋推進協議会」は、毎月10日に参加店舗では原則としてレジ袋を渡さない「ノーレジ袋デー」を実施し、街頭啓発やレジ袋に関するアンケート調査など、レジ袋削減に向けた活動を展開中です。

これまでの調査では、買い物にマイバッグを持参するなどして実際にレジで袋を断った人の割合は約3割。断る人は少しずつ増えていますが、まだまだ多いとは言えません。

買い物をしてあたりまえにもらえるレジ袋ですが、1枚作るために約20mlの石油が必要。また、そのほとんどはごみとして捨てられるため、焼却される際に発生する二酸化炭素が大きな問題となっています。

協議会では、二酸化炭素の削減や石油資源の節約、ごみの発生抑制をめざし、来年2月をめどにレジ袋の無料配布中止(有料化)の実施に向けた準備を進めています。

これからは、買い物にマイバッグやマイバスケットを持って出かけませんか。わたしたちが簡単にできる、地球をいたわる大きな取り組みです。

在宅医療廃棄物の適切な処理をお願いします。

在宅医療の進展によって、これまで医療機関からのみ排出されていた注射器などの医療廃棄物が、家庭からも多く排出されるようになってきました。在宅医療廃棄物は、次のとおり適切に処理してください。

注射針と注射器は、 病院、調剤薬局などで回収。

- ①注射針は、使用後に針ケースを付け、プラスチック容器に入れる。(小型のペットボトルが適します)
- ②注射器は、針を取り外した後、ポリ袋などに入れる。
- ③点滴回路は、主治医が指示する方法に従い医療機関で回収する。

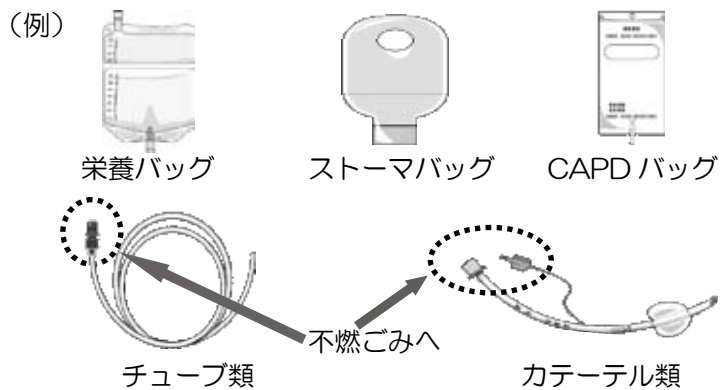
(例)



軟質プラスチック類は、 可燃ごみとして収集します。

- ①バッグ内などの残液や汚物は、トイレなどに流して空にする。
- ②チューブは60cm程度に切断し、流量調節部分の硬質プラスチックを取り外す。
- ③軟質プラスチック類は、他の可燃ごみと一緒に指定袋に入れて持ち出す。
- ④流量調節部分(硬質プラスチック)は、一般の不燃ごみと一緒に指定袋に入れて持ち出す。

(例)



有料広告

住みたい街、米子を幸せ色に塗り替える。

感動の塗替えリフォーム専門店 **いなたリフォーム**

米子市夜見町2496-3 TEL 0859-24-0434 FAX 0859-29-1655

家庭用生ごみ処理機等の購入費に補助金を交付しています。

米子市では、可燃ごみの約半分を生ごみが占めており、生ごみを減らすことが課題の一つとなっています。補助金は、予算の範囲内において先着順で交付しますので、希望される方は、早めにお申し込みください。

補助の対象となるもの

家庭用生ごみ処理機(電気式)…乾燥式、バイオ式、ハイブリット式などがあります。

家庭用生ごみ処理容器…コンポスト容器、密閉式容器、生ごみ水切り容器があります。

※平成21年3月31日以前に購入されたものは対象外です。

補助金の額 (いずれも100円未満切捨て)

家庭用生ごみ処理機(電気式)…購入金額の3分の1 上限20,000円

家庭用生ごみ処理容器…購入金額の3分の1 上限3,000円

手続きは
お早めに!



申込方法

次のどちらかの方法でお申し込みください。

①市役所環境政策課(旧庁舎1階)または淀江支所市民生活課の窓口で申し込み

②官製はがきに郵便番号・住所・氏名(世帯主)・電話番号・補助の交付を希望する種類(「生ごみ処理機(電気式)」または「生ごみ処理容器」)を明記して、市役所環境政策課まで郵送(送付先は下記参照)

申込受付期間

現在受付中～平成22年2月26日(金)まで ※予算額に達した時点で申し込みを締め切ります。

携帯電話は貴重な資源です

家庭で眠っている携帯電話はリサイクルへ

みなさんの家庭には、機種変更などで役目を終えた、不要になった携帯電話はありませんか?

携帯電話には、金・銀といった貴金属をはじめ、パラジウムなどの希少金属が天然資源に比べ高い濃度で含まれているんです。

通信事業者と製造メーカーでは、モバイル・リサイクル・ネットワークという回収システムをつくり、携帯電話・PHSの再資源化を進めています。参加店舗では、使用済みの携帯電話・PHS本体、電池、充電器を自社・他社のものを問わずに、無料で引き取ってもらえます。

また、携帯電話の内部に保存してある個人情報などは、店舗で持ち主自身が消去することができるほか、立ち会いのもとで破砕処理してもらうことができます。

さらに、機種によっては、写真やメールなどのデータをCD-ROMなどにバックアップするサービスもあります。

お近くの携帯電話会社の店舗か、右のマークの表示があるお店に持って行きましょう。



レッツ  減量!

チャレンジ⑥

ダンボール箱を使って

生ごみ堆肥づくりに挑戦!

ダンボール箱を使って生ごみ堆肥づくり?初めて聞く方も多いのではないのでしょうか。

身近にある段ボール箱を使った堆肥づくりは、少ない経費で生ごみが堆肥に変身。できあがった堆肥は、プランターの草花や、家庭菜園などに活かせます。

もちろん可燃ごみの減量にも効果抜群です。

市役所では、このダンボール堆肥づくりを実践し、生ごみが分解していく様子を観察しています。

実際の様子をご覧になりたい方は、環境政策課(電話 23-5300)までお問い合わせください。(作り方などの説明書を用意しています。)

お気軽に
お問い合わせ
ください!



事務局：米子市役所環境政策課 〒683-8686 米子市中町20番地(山陰歴史館となり、旧庁舎1階)
TEL 0859-23-5300 / FAX 0859-23-5258 / E-mail kankyoseisaku@yonago-city.jp
米子市ホームページ：http://www.yonago-city.jp



米子市グリーン購入適合用紙を使用しています。